

学習課題(小学校4年生)

【音楽】パソコンなどで、見たりきいたりできる人は、取り組んでみましょう。

＜勉強すること＞

- ◆せんりつの特徴を生かして、『とんび』（教科書38～39ページ）を歌いましょう。



※参考動画 http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/gakushuukadai_shou4.html

- (1) 『とんび』の歌詞を声に出して読みましょう。歌詞の言葉から「とんび」が飛んでいる様子を思いうかべましょう。
※教科書38～39ページの挿絵もさんこうになります。
- (2) 様子を思いうかべながら『とんび』をきいたり、口ずさんだりしましょう。
※右上QRコードから範唱をきくことができます。
- (3) せんりつの音の上がり下がりに合わせて手を動かしながら歌ったり、階名（ドレミ）で歌ったりしましょう。
※「手の動き」は、動画で確認できます。
- (4) 教科書39ページの「『よびかけとこたえ』を生かそう」をさんこうにして、3段目の歌い方を工夫して歌いましょう。
※歌詞が表すとんぴの様子を思いうかべて、「よびかけとこたえ」のせんりつに合う強弱などを工夫しましょう。

＜強弱の工夫の例＞

- ・2羽のとんびがよびかけ合っているように、よびかけは強く、こたえは弱く歌う。
※右上QRコード 音声データの一目で確認できます。
- ・とんびが近くから遠くへ輪をかいて飛びながら鳴いているので、だんだん弱くする。
※右上QRコード 音声データの二目で確認できます。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・とんぴの様子を想像しやすい歌詞で、自然に強弱の変化を付けたくなるようななめらかな旋律の流れが特徴の曲です。手の動きや階名で歌うことで、旋律の音の上がり下がりをおかめながら、なめらかな旋律の音の動きに気付けるようにします。
- ・考えた強弱などの工夫は、歌って試してみることが大切です。一緒に歌ったり、お子さんが考えた工夫を保護者の方が歌って聴かせてあげると効果的です。